

## 実りの秋

朝夕の冷え込みとともに、近くの公園や街路樹が赤や黄色に染まり、私たちの目を楽しませてくれていきます。

この一年をふりかえってみますと、

元号が「平成」から「令和」にかわり、十月には令和天皇の「即位礼正殿の儀」がとりおこなわれました。古いにしえから脈々と引き継がれる日本の伝統にふれ、感慨深い佳き日となりました。

スポーツではラグビー世界選手権が日本で開催されました。一人はみんなのために、みんなは一人のためにと、チーム一丸となって戦う姿に、お互い助け合うことのすばらしさと感動をいただきました。

デイサービスでは、日頃の運動や、作品作りに取り組んでまいりました。秋の大運動会や、作品展でその成果が発揮されました。

あつという間の一年ですが、日々の積み重ねが体力維持につながり、素敵な作品に仕上がりました。実り多き秋だなぁと、嬉しい気持ちでいっぱいです。皆様の元気に生ききる智恵や技を、これからも大いに発揮できるデイサービスにしていきたいと思えます。

冬に向かい段々と寒くなりますが、これからも、元気で楽しく過ごしてよい年を迎えましょう。

新生楽舎デイサービスセンター

徳井 久子

## 夏祭り運動と会



## 介護士コラム

7月より入職しました、鬼頭めぐみです。デイサービスが、ご利用者様には安らげる空間であり、ご家族には安心できる所であり、そして私にとっても大切な場所となるよう、新たな出会いを大切に「二期一会」の精神で努めてまいります。



# 《イベント・ボランティア様》

おやつ作りレク



コーラスジョイ



## 編集後記

令和に変わって半年が過ぎました。楽舎には、新しい風を吹かせてくれる仲間が増えました。今年もあと2ヶ月を切りました。スタッフ一同、今後とも頑張りますので宜しくお願いたします。

看護師 加山 佐奈枝

## 看護師コラム

人は何故、音楽を聞いて感動するのでしょうか。音楽には、人の心を癒やしたり、気力を回復させ意欲を起こさせるなどの効果があります。音楽は、「記憶の扉を開けるカギ」ともいわれており、子供の時に歌った童謡や唱歌は、昔のことを思い出してさらに、脳を活性化させる効果も期待できます。

好きな音楽を聴く、カスタネットや鈴・タンバリンなど簡単な楽器を使ってリズムに合わせて楽器を鳴らす、体を動かす、口ずさむ、音楽を通してのリハビリ、音楽療法です。

新生楽舎では、スタッフがキーボードで懐かしの唱歌を弾き、ご利用者様は鈴やハンドベル等を持ち曲に合わせて合わせながら楽器を鳴らします。パートごとに分かれて合唱に近いものにも挑戦しています。歌に集中してしまうと楽器が鳴らず、楽器に集中してしまうと歌が聞こえず。一度に二つのことをするのがこんなに難しい事なのかと、笑いながら楽しんでいる姿は、どの方も生き生きしています。

皆さんも、毎日の生活に音楽を取り入れてみませんか？四季折々の歌を口ずさんでみてください。心が癒やされることでしょう。

優しいメロディ  
—奏でる  
山上看護師

